



平成二十一年五月三十日(土)、九段校舎・四〇一教室において、平成二十一年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。

総会に先立ち、本学文学部国文学科主任・磯水絵先生による、「今にいきる『徒然草』」と題した講演会が行われた。

午後二時三十分、幸田類氏の司会で総会を開会、山岡会長

# 平成二十一年度 定期総会開催

## 二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊  
平成21年7月31日発行  
(第65号)

二松学舎大学父母会

(本部)東京都千代田区三番町6番地16  
(事務局)千葉県柏市大井2590  
〒277-8585 TEL.04(7191)8756

二松学舎大学柏教学課

題字は  
故 観山貞廣常吉先生書



大学代表の渡辺学長がそれぞれ挨拶した後、桐原利之議長により議事に入った。

議事は第1号議案平成二十年度事業報告並びに決算は、審議の結果原案どおり承認された。

第2号議案の二松学舎大学父母会会則の一部改正は、審議の結果原案どおり承認された。

第3号議案の平成二十一年度役員選出では、会長に山岡英夫氏、併せて、会計監査に坂巻祐子氏・幸田類氏が決定した。

第4号議案平成二十一年度事業計画並びに予算案が審議され、それぞれ承認された。

議事終了後、平成二十年度末で役員を退任した星野早苗氏・新澤雅子氏に渡辺学長から感謝状及び記念品の贈呈があった。

また総会終了後、十三階ラウンジにおいて懇親会が開催され、盛会のうちを終了した。



磯水絵教授による講演

ごあいさつ



新入生のご父母の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。...

平成21年度 父母会活動について

父母会会長 山岡英夫



「大学と父母との連絡を緊密にして、学生に...

ことを重要な基本方針としてい... 今年度の具体的な内容として...

この春も若い力が社会へ果立... 若い力が新たなステージへ...

「雑感」

理事長 大山徳高

暑中お伺い申し上げます。国民的関心事であった桜の季節...

さが開花に大きな影響を及ぼすとい... われており、よく知られていること...

「子弟の小さな変化を見逃さない」

学長 渡辺和則

大学四年間は小学校入学以来の学... 習生活の仕上げの期間です。...

しかし、それは大学とご父母の... みなさんとの連携による支援が必要...

また、そのための努力こそが、政... 治経済的状況に翻弄されず、...

目、専攻、所属ゼミナール、サーク... ル活動、アルバイトなどについて...

務めさせていただく事になりました... 役員のみなさまの伝統を引きつい...

権平 雅子

和やかな春風に包まれた入学式... 「二人を大切に」と、真剣に学生...

國府田 恭子

年の離れた末っ子がお世話になる... のをきっかけに、生涯最後になる...

永松 はるみ

私は山野草が好きで育てていま... が、昨年夏、鶯草を日向から日陰へ...



受付(父母会役員)

総会出欠ハガキの通信欄から、会員の方々のご意見をまとめました。紙面の都合によりすべてを掲載することはできませんが、ご了承ください。

○シラバスの発送日をもう少し早くしていただけたらと思います。九段に移るので住居がしがが大変でした。柏のように不動産(学校扱い)があるといいです。  
(国文3年)



講演会

○いつもお世話になっております。出席できませんが今後ともよろしくお願いいたします。  
(政経2年)

《大学より》  
シラバスの発送につきましては、成績通知書が届くタイミングでお送りいたしております。発送日をご確認の上、早くすることはできないのが現状でございますが、一日でも早くお手許に届けられますよう検討します。



総会



○朝・夕の柏駅学校間のバスの運行をもう少しスムーズにして欲しいと要望をしていただきたい。  
(中文2年)

○いつもお世話になっております。出席できませんが今後ともよろしくお願いいたします。  
(政経2年)

ので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。  
東京での住居探しのサポートといたしましては、例年十月から十一月にかけて二回ほど柏校舎内で、「住み替え説明会」を実施しております。是非ご利用いただきたいと思っております。スクールバスに関しては、可能な限り効率よく回転すべくダイヤを組み、安全運転を第一に運行しております。今後も改善できる点を検討してまいります。  
毎回、貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 平成21年度 総会余滴

### 平成21年度役員

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
山岡英夫	会長	4年	栗田順子	委員	2年
篠塚義光	副会長	2年	塩澤尚子	委員	2年
佐藤一樹	副会長(学務局長)		月永美世香	委員	2年
坂巻祐子	会計監査	4年	堀川智子	委員	2年
多田博子	委員	4年	國府田恭子	委員	1年
福井文子	委員	4年	権平雅子	委員	1年
幸田類	会計監査	3年	永松はるみ	委員	1年
桐原利之	委員	3年	吉田浩之	委員	1年
渡辺良子	委員	3年			

### 平成21年度 二松学舎大学 父母会定期総会議事録(抄)

日時：平成21年5月30日(土) 13:30~17:00  
場所：九段校舎 401教室  
講演：今にいきる『徒然草』  
二松学舎大学教授 磯 水絵先生  
出席者：本年度会員数 2,971名  
委任状 1,023名  
出席者 84名 合計 1,107名  
大学側：渡辺学長、佐藤学務局長、井上教学部長、高柳柏教学部長、志村教学課長、菅原柏教学課長、村瀬柏教学課員

- 開会の辞 司会 幸田類  
司会者より「本日総会時の会員数は、2,971名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて595名の出席が必要です。本日の出席者は84名。委任状は1,023名。合計1,107名です。よって本日の総会は成立する。」との説明があった。  
続いて、山岡英夫父母会長、渡辺和則学長からそれぞれ挨拶があった。
- 議長指名 司会者より「総会の議長は父母会運営細則により会長または会長の指名するものとなっており、会長より桐原利之さんが指名されているので、桐原議長のもとで議事を進行させたい」との説明があり、桐原氏が席についた。
- 書記・議事録署名人名指名 桐原議長が書記及び議事録署名人名として次の各氏を指名した。  
書記 多田博子氏  
議事録署名人 塩澤尚子氏、堀川智子氏
- 議事  
◇第I号議案〈平成20年度事業報告並びに決算〉  
山岡会長より、議案書に基づき概要説明があり、続いて新澤会計監査より監査報告があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

- ◇第II号議案〈二松学舎大学父母会会則の一部改正〉  
山岡会長より、議案書に基づき概要説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
- ◇第III号議案〈平成21年度役員選出〉  
桐原議長から、会則第6条・8条に基づき、総会において役員(会長・会計監査)を選出することとなっているとの説明があり、その選出方法について諮られた。選出方法が議長に一任されたのを受け、桐原議長

から前回同様、大学側に候補者の推薦を依頼したいとの提案があり、承認された。依頼を受けた大学側(佐藤学務局長)より次の各氏が推薦された。  
会長 山岡英夫氏  
会計監査 坂巻祐子氏 幸田類氏  
桐原議長が大学側から推薦された各氏について諮ったところ異議なく承認された。  
続いて山岡会長より就任の挨拶があった。

◇第IV号議案〈平成21年度事業計画並びに予算〉  
山岡会長より、議案書に基づき概要説明があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ渡辺学長より感謝状と記念品が贈呈された。

星野早苗氏、新澤雅子氏

- 閉会の辞 司会 幸田類

◇懇親会  
九段校舎13階ラウンジに移動し、懇親会が開催された。17時、盛会のうちに終了した。



桜が満開の九段で入学式を迎えて早三ヶ月。知っている人もおらず、教室の場所もわからずに心細くおろしていたあの頃に比べ、友人もでき授業にも慣れてきた。新しい環境に新しい人間関係、新しいことの連続に戸惑い少し疲れていたが、最近になって大学で学ぶということを感じてきたように思う。

小学校、中学校、高等学校と通ってきた。私は学校という場所がとて好きだった。もちろん「学校に行きたくないな。」と思うことがなかったわけではないが、人生の半分以上を過ごしてきた学校生活は思い返せば楽しいことばかりだった。

学校というのは楽しい場所だと感じてほしい。そしてその楽しいを私自身これからも感じ、共有していきたい。そういう思いから教員を志してこの大学に入学した。この思いを見失うことなく学業に専念したい。

教職科目にはいろいろなものが含まれているので好きなものばかりとはいえないが、それでも高校までに比べれば興味のある授業がたくさん

受けられる。今はまだどの授業も入り口といった感じで「概論」とか「入門」と名前のつくものが多い。興味を持つ分野や好きな先生の授業は毎週とても楽しみにしている。私は勉強は正直あまり好きではないが、好きなことを学べる授業は勉強というより趣味的要素が強く、これを勉強と呼んでいいのかとすら思う。

また、私は小さい頃から本が大好きで週に二回も図書館に通う小学生だった。大学の図書館も大いに利用したい。もうすでに二日に一度のペースで通っており、暇があればすぐ五号館へ向かうのが習慣になっている。図書館の本棚を見渡すと、人生ではこんなにたくさん読めない本があるのかと実感し、焦る。

これからの四年間で得られるものは自分次第でどうにでもなる。後から振り返ったとき大学生活が揺るぎない自信になるよう、しっかりと頑張りたい。



中国文学科  
内田 苑子



国際政治経済学科  
小笠原 健悟

一人で迎えた入学式、周りに知っている人はいませんでした。式が始まったまま入学式は終わり自分の大学生活は始まりました。

いざ大学生活が始まると、最初はカリキュラムなど様々な説明が多く正直戸惑ってばかりでした。そんな時、不安な自分を助けてくれたのは友達や先生方でした。特に友達の力はとても大きく感じました。今でも基礎ゼミの授業で仲良くなった友達を初め、サークルや同じ授業で知り合った友達と触れ合う時間は楽しく、自分の大学生活を充実したものにしてくれています。

また、自分は今親元を離れて一人暮らしをしています。最初は一人でも十分暮らしていると思いましたが、掃除や洗濯などの家事をやっていると親の有り難さを強く感じ、それと同時にこれまでの親への感謝の気持ちが生まれました。自分のことは自分でやる、当たり前のことですがそのことがどれだけ大変なことであるかを自分は一人で暮らすことで

感じ、またこれから自分のことは自分でしっかりとできるように努力していきたいと思っています。

大学といったらやはり勉強が中心になります。大学での勉強は高校よりもより専門的で難しいです。それに自分自身の意識がとても大事だと思います。毎日授業を受けていると気が緩みがちなので、高い意識を持って毎日の授業を頑張りたいと思います。

今こうしてこれまでのことを振り返ってみると自分はいろんな人達に支えられていると感じます。応援し続けてくれる両親、気の合う友達そして親切な先生方のためにも、感謝の気持ちを忘れず一日一日を過ごしていきたいと思っています。まだまだ二松学舎大学に入学して間も無いですが、教員という自分の目標に向けて、大学生活の中で立派な大人、社会人になれるようにしたいと思っています。長い様で短い四年間を充実したものにしたいと思っています。



桜花爛漫の四月の入学式からはや三ヶ月余。七六五名を数えた新入生もキャンパスでの生活にも慣れ、ようやく大学生らしくなってきました。高校時代とは異なり、自分の裁量・責任で、判断・選択し、創り上げていく生活が始まりました。新たに出会う、様々な経験を得た学友が二松学舎で新しいスタートを踏み出しました。ここでは、大学生活に対する抱負・意気込みを各学科の新入生に書いてもらいました。



国文学科  
西葛 誠悟

一人ですべて迎えた入学式、周りに知っている人はいませんでした。式が始まったまま入学式は終わり自分の大学生活は始まりました。

いざ大学生活が始まると、最初はカリキュラムなど様々な説明が多く正直戸惑ってばかりでした。そんな時、不安な自分を助けてくれたのは友達や先生方でした。特に友達の力はとても大きく感じました。今でも基礎ゼミの授業で仲良くなった友達を初め、サークルや同じ授業で知り合った友達と触れ合う時間は楽しく、自分の大学生活を充実したものにしてくれています。

また、自分は今親元を離れて一人暮らしをしています。最初は一人でも十分暮らしていると思いましたが、掃除や洗濯などの家事をやっていると親の有り難さを強く感じ、それと同時にこれまでの親への感謝の気持ちが生まれました。自分のことは自分でやる、当たり前のことですがそのことがどれだけ大変なことであるかを自分は一人で暮らすことで

感じ、またこれから自分のことは自分でしっかりとできるように努力していきたいと思っています。

大学といったらやはり勉強が中心になります。大学での勉強は高校よりもより専門的で難しいです。それに自分自身の意識がとても大事だと思います。毎日授業を受けていると気が緩みがちなので、高い意識を持って毎日の授業を頑張りたいと思います。

今こうしてこれまでのことを振り返ってみると自分はいろんな人達に支えられていると感じます。応援し続けてくれる両親、気の合う友達そして親切な先生方のためにも、感謝の気持ちを忘れず一日一日を過ごしていきたいと思っています。まだまだ二松学舎大学に入学して間も無いですが、教員という自分の目標に向けて、大学生活の中で立派な大人、社会人になれるようにしたいと思っています。長い様で短い四年間を充実したものにしたいと思っています。

# 第12回 中国語学研修 報告

**語学研修報告**

北京大学歴史学系での語学研修も今年で第十二回を迎えた。今年度は、北京オリンピックの影響で、例年実施している夏期ではなく、冬期(二月二十日から三月十二日までの二十一日間)の実施となった。十二名の学生が参加し、前半を文学部武永尚子教授が、後半を同学部石村広准教授が引率した。

北京大学は、北京市西部郊外に位置する国立の総合大学であり、本学とは一九九九年に協定を締結した。本研修のみならず、交換留学生や教職員の定期的な相互派遣などを通して、良好な交流を展開している。

本研修プログラムは、本学のために特別に組み立てられたもので、今回も午前中には中国語の授業を、午後には中国の歴史・文化に関する講



(国際交流センター) 三島周二

義の授業を行い、週末には故宮や万里の長城などの名所旧跡見学、さらには伝統芸能鑑賞など、多様な内容となっている。

冬期の実施は、今回が初めてであり、北京の寒さは大変厳しいとのことであったので、体調管理の面で心配があったが、期間中は大きな病気や怪我もなく、学生は充実した日々を過ごせたようであった。

三週間の短期研修ではあったものの、朝から晩まで文字通り「中国語漬け」の毎日で得た経験と自信は、今後の大学生活においても必ず役に立つことであろう。また、帰国後も勉学への意欲をみせる学生も多数おり、参加した学生のさらなる飛躍を期待しつつ、次年度以降の実施についても、多くの学生の参加を期待したい。

**「中国語学研修に参加して」**

文学部中国文学科 二年 相澤 美貴子

北京に旅立つ当日、私は不安で仕方がなかった。三週間日本を離れること、一年生の私が授業についていけるのかどうか、と考えているうちに、北京に到着した。

今回の研修は人数が少ないということ、十二名一組のクラスだった。授業では、教科書の内容以外に、毎回、自分でテーマ設定した中国語作文を一人ずつ発表した。発表に対して、互いに質疑応答する時間もあったが、最初の頃は全く聞き取れず、研修の半ばくらいまで、質問することができずにいた。それだけに、初めて発言できたときはとても嬉しかったし、ヒアリングの力が少し定着したのかなと自信になった。

北京大学は、施設がとても充実していた。それもそのはず、市内在住の学生以外は全員学内の寮で生活しているらしい。つまり、勉強に集中できる環境が学内に揃っているのだ。そのせいなのか、学生はとても勉強熱心に見えた。例えば、毎朝、屋外で立ったまま本を読んでいる学生を見かけた。日本ではほとんど見られない光景で、勉強に対する意識が両



国で大きく異なることに、若干シロツクを受けた。

最初は不安で仕方がなく、もともと語学力をつけてから行けばよかったかなと何度も後悔したが、異郷の地で三週間生活したことによって、強くなれたと思う。中国では、何をすることも自分で考えて行動しなければならず、それまで人に頼ってばかりだった私には辛いときもあったが、帰国してからの変化には、自身がいちばん驚いているくらいだ。

今後の授業や生活に役に立つような経験ができて、参加して本当によかったと思う。



副学長 林 武志

私が、二松学舎にお世話になったのは、修士課程の二年間である。国文学専攻で、たった一人の一期生で、総て学部との共通授業であった。湯池孝先生の一葉、飯塚友一郎先生の黙阿弥、師岡良一の近代詩、萩谷朴先生の源語、内田道雄先生の漱石と、思いも懸けぬ講筈に連なることができた。卒論を平岡敏夫先生に見て戴き、その時の勧めで関良一



学務局長 佐藤 一樹

東京の下町育ちの通例で、苦手なもの、嫌いなものをコツコツ努力して克服するようなこらえ性を生来備えていない。中学、高校と、数学をはじめ、物理、化学などの教科が大の苦手で、授業中はいわゆる「お客様」の状態だった。典型的文系人間である、というより絵に描いた落ちこぼれ生徒という方が正確である。だから大学に入って自分で授業を

## 私の学生時代

の門を叩いたというのが正かもしれない。

総て学部共通では、甲斐無いくと週一回、師のご自宅での講義が始まったのも間もなくであった。何うと三、四時間、今執筆中の原稿の話から、その師の能勢朝次先生の能楽源流考、果ては、学窓にある時からしばらく続けた勢語、歌論、「観世」掲載の能楽論に至るまで、談論風発、果てしなかった。

結句、アボなしの訪問が十年は続いた。論文指導の初回は、「いけません」のみで、何処がとお聞き選ぶことができるようになったことほど有り難いことはなかった。もちろん当時のことだから、教養科目として自然科学系の授業も三科目選択しなければならなかったのだが、先輩たちの親身の「アドバイス」のおかげで、星の写真を撮って先生に見せれば優か良がもらえる天文学、きれいな石を拾ってくれば単位が出る地学などを受講して、なんとか乗り切ることができた。(もう一科目は何をとったか、どうしても思い出せない)。

劣等生によくあることだが、高校

きすると、「全部、二回目は、「君は多段落家だねえ」だったり、「自分で考えなさい」だったり、三回目にはぼつぼつと会話が成立する。何のことはない、師に做つて言えば、「馴染」になって、初めてこちらを向いて戴けたのだ。数年後、論文添削を御願いしたとき、「もう僕が目を通さなくても良いだろう」といわれたときは本当に嬉しかった。二松に入る前はほぼ中文で、素読ばかりやっていたことと、大学院というには何も無い二年間で、いつも渴いていた。却つてそれまで先生と親しく接した経験がなかった。こちらにとつて先生は煙たい存在だし、あちらも相手にする気はない。ところが

が良かったと思っている。何より當時一流の先生方に出会えたことが幸運だったとしみじみ思う。飯塚先生の鎌倉腰越のご自宅で、到来物の薩摩焼酎を戴きながら、歌舞伎無料券を戴いたのも懐かしい。田中伸先生の井の頭のご自宅で絵双紙を拝見した。一人だったから皆気に懸けて下さったのだと思う。他の大学院に出ても(その頃二松には国文の博士課程はなかった)七〇年安保の動乱の中で、生え抜きの悲哀を味わうこともなく良い出会いが続いた。何が幸いするかは時が経つてみなければわからない。飲んだくれた逸話は山とあるが、又の機会に。

なければ気が済まない先生と、実に多士済々だった。そんなような酒飲みみでなければ大学教授は務まらないと、当時は本気で考えていた。今自分自身が大学で教えるようになって、同じ酒飲みなのにあつた行動がとれないのは、世代や時代環境の違いではない。研究者としての、あるいは人間としての器量の違いであると、つくづく感じている近頃である。あの先生がたは、できの良くない、しかもアルコールでヘロヘロの学生を、研究の道に誘つてくださったのだから。



# POP!GUTS!2009 開催

**柏祭POPを終えて**  
一年 池成 舞

学生会執行委員会の書記を務めております、国際政治経済学部国際政治経済学科一年の池成舞です。

今年も無事、柏祭POPが終了しました。一年生ということもあり、入学後初めての学園祭でした。高校とは違う活気に押されながら、当日を迎えました。柏祭POP当日は朝から豪雨に見舞われ、緊張と不安でいっぱいでした。しかし、開催時間からしばらくして、たくさんの方の来場客の方が見ることができました。各団体の積極的な宣伝によるところだと思いま



自分の所属している団体の企画をしながらキャンパス内を歩いていると、たくさんの方が色々な企画を催しており、とても充実したものとなっていました。来場客の方が見えたと喜んで帰っていかれた事と思います。来年の柏祭が更に良いものになり、地域の方がたと交流の持てる大学にしていきたいです。



す。二松学舎大学が去年よりも更に地域に根付くことができたように感じ、とても嬉しかったです。



で始めました。僕は自身はソフトボールのテントを組み立てる段階から少しかけて始めていました。

## 柏祭(GUTS)を終えて

一年 嶋田隼人

学生会執行委員会で書記を務めております文学部国文学科一年の嶋田隼人です。

今年の柏祭GUTSは昨年のバスケットボール、フットサル、ソフトボールの三種目に加えて、一昨年末で開催されていたバレーボールを再び取り入れた合計四種目を行いました。大学一年生の僕にとっては、初めてのGUTSソフトボール担当で、連絡係やトーナメントの組み合わせ等の準備を務めました。六月二十七日のGUTS一日目は雨の多い季節には珍しく、とても暑い日差しの中



当日の僕達のソフトボール担当の事は試合開始前に参加者を呼んで出欠の確認をとり、それを審判の方に伝えるといった内容でした。審判は参加者の方が務めてくださったので、試合をゆっくり観ることができました。暑い中、試合はとても盛り上がり、観ている僕たちも楽しむことができました。

二日目は各トーナメントに勝ち残ったチームによるリーグ戦を行いました。前日はとても晴れていましたが、この日は試合の途中から雨が降り始めました。しかし、試合は続行しました。その中で、僕の作った試合の組み合わせの問題があり、参加者や先輩方に迷惑を掛けてしまいました。来年は今年の反省と経験を活かして、より良いものになりたいと思いました。

# キャリアセンターだより 15

「就職超水河期」これが現在の就職状況です。

昨年からの世界金融恐慌の影響は予想以上の規模で、本年三月にリクルートが実施した調査によると、従業員千人以上の大企業の求人倍率は0.5五倍で、千人未満の企業は三.六三倍という結果です。しかし、四年生の就職活動を見てみると中堅、中小企業の採用はもっと絞り込んでいます。

実際、本学の学生を毎年複数採用している企業が、今年は採用見合わせだとか、昨年の半分の採用なのでもう終了しましたとの連絡がかなりあります。

現在も未内定の四年生が就職活動を継続していますが、企業の採用活動はほとんどが一旦終了という形をとっています。今後日本経済が少しでも上向けば、若干の採用があるかも知れませんがそれを祈るばかりです。

しかしながら、キャリアセンターでは、本学学生を採用した実績

のある企業に対して今後の採用有無について確認し、一人でも採用していただけるようお願いしております。

未内定学生へのフォローは責任をもって最後まで行う所存です。キャリアセンターに連絡するようお願いください。

今年度は、夏休み期間に一年生、二年生に対して就職プレ講座を開講する予定です。この父母会報が皆様のお手元に届くころには、募集が最終段階になっていることでしょうか。

お子さんに、受講の申し込みをしたか確認してください。そして、まだしていないようでしたらぜひ申し込むようご指導ください。就職に対する考え方などは、早くから実施しても早すぎることはありません。

八月五日から学生は夏期休業となります。この機会にご家族で卒業後の進路についていろいろと話し合ってください。

## 新入生歓迎会

「新入生、ようこそ」

はじめまして、今年学生会執行委員会の会長を務めさせて頂いております、国際政治経済学部二年の島地貴之です。

今年の新入生歓迎式典は、テーマを「おいでな祭」と設定し「新たにやってきた新入生を和やかな雰囲気でも歓迎しよう」というコンセプトを持って、開催いたしました。

式典当日「新入生はどのくらい来るのだろうか？」ということに気がしつ、準備を行っていました。すると時間が経つにつれ新入生がぞろぞろと会場である五〇一教室に入ってきました。その時はとても嬉しくなったと同時に一気に緊張感が高まってきて「いよいよ始まるな」と思いを引き締め、式典スタートの時間を迎えました。

式典は体育系団体の様々な迫力満点のパフォーマンスと文化系団体のバラエティーに富んだ発表がステージの上で行われ大いに盛り上がりを見せました。さらに、今年も司会進行役として参加下さった我が大のお笑いコンビ「カタクリコ」が緊張していた新入生を爆笑の渦に巻き込み、終始新入生を楽しませていました。これによって新入生も少しずつ緊張が解れて笑顔が目立つようになり、とても楽しく団体の発表を見ていました。

各団体のステージでの発表が終了すると、次は勧誘時間となり、各フロアと中庭は団体の「新入生を入れるぞ!」という気迫で満ち溢れていました。さらに今年中庭に外ステージを設置したこともあり、ここでも団体の気迫が前面に押し出され、新入生がその迫力に大いに圧倒されていました。

一年生の皆さん、これから大学生活頑張ってください!

最後に、今回の新入生歓迎式典開催にあたり御協力下さった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 《高澤ゼミナール》

書道のゼミというと、臨書、創作といった実技を主にやっているという先入観があるかもしれません。高澤ゼミは「碑帖鑑定」というテキストを用い、書道史の中でも石碑についての選読読解をします。担当者によるレジュメ発表と理論のみに偏らないようその拓本を手本として臨書製作を行っています。中国漢代の金石に研究の趣旨を絞り、書体は篆、隸書が中心となります。「碑帖鑑定」は中国の文献なので漢文訓読の

知識も必要になり、調べる過程で困難なこともあります。先生が資料の提供や助言を行ってくれるので、私たちは書道への関心、意欲を高め、発表と実技に取り組むことができました。夏と春の休業中には房総浜金谷の海に臨むホテルで二泊三日の合宿を行います。三年生は自分たちの担当箇所、四年生は卒業制作に向けた作品を書きます。合宿中は皆、先生の添削、ご指導を受けながら自分の意に合う作品の完成を目指します。合宿二日目は鋸山に出かけて気分転換する環境で勉強して

### ゼミ探訪

私達中山ゼミは、三年生、四年生合わせて計十七名で活動しています。活動内容としては、三次では教授が用意したテキストの各章をグループ及び個人でプレゼンを行います。四次では、卒業論文作成に力を入れるために、法律に沿った問題を取りあげ卒業論に役立てるようにプレゼンを行っています。このプレゼンには三年生も参加していますが、彼らも自由に発言することができ、私達は和やかな雰囲気のある

環境で勉強してゼミ全体の交流を深めるために、夏期長期休暇中は、合宿を行います。この合宿は全て三年生が計画を立て合宿の内容を決めます。昨年は伊豆に二泊三日で行きました。充実した勉強の時間をとりながら、交流を深める事ができるレクを多く盛り込み仲間との絆を作りあげることができました。中山教授は常に私達を尊重してくださいます。卒業論文に関しても、基本的に各自自由にテーマを決めることができ、生徒個々の意見を尊重

をします。皆の書いた作品を発表する場として、毎年創縁祭で書作展を催しています。図録作成や作品の配置、装飾などを分担して行います。団結力のあるゼミ生と、企画・展示に経験豊富な先生の熱意により、毎年多数の方に来場いただき好評をいただいております。私たちの高澤先生は、研究に対して非常に熱心で、私達には時に厳しく、時に冗談を言うようなユニークな一面もある先生です。また、四年生の卒業制作へは一人ひとりが興味あることに打ち込めるよう適切なアドバイスをしてくれます。また、どの発表に対してでも中山教授にフォローをして頂けるので一つ一つのテーマを理解していくことができました。就職活動においても、質問に対して答えではなく筋道を教えて頂いたため、面接や資料作成にとっても役立てることができました。このように私達のゼミはとてもアウトホームな雰囲気を持ち活動しています。今年の合宿は三年生の人数が少ないことでも大変ですが、四年生も協力して素敵な合宿を成功させたいと思います。



ご指導もしていただいております。

### 《中山ゼミナール》

早いもので、春semesterが終わろうとしています。例年、春semesterは、新入生の皆さんが大学生活のスタートを過ごしてゆくお手伝いを心がけています。今年は、学生相談室を見学する機会を提供し、今は縁がない皆さんにも学生相談室を見てもらいました。学生相談室の利用者は、ほとんどの場合、自ら相談を申し込みます。自ら相談を申し込むという行為は、簡単なようでなかなか難しいことです。何か困りに直面しても、自分の力で何とかしたいと考える人は多いのではないでしょうか。また、よく知らない学生相談室の相談員には話せないし、話したとしてもどうせ当てにならない、と思うこともあるでしょう。もちろんそのような気持ちで、自ら踏ん張って困難を乗り切る人はいますし、それは好ましいことです。その一方で、自分で何とかしたいと相談するのをためらっているうちに、自分で問題を抱えずに、かなり問題が複雑で大きくなって解決し

にくくなってしまおうという事態もあるものです。自ら相談するということは、それ自体エネルギーの要ることです。皆さんにぜひ見学を、とお勧めしているのは、相談の必要性を感じる時は、実は自分のエネルギーが切れかかっているかもしれない、そんなときに知らない相談員のいる知らない場所に自ら足を向けることは難しいのではと思うからなのです。ちょっとした中の様子を見ておいて、相談員の人の柄を知っていることにより、相談しやすくなります。ところで、初めて学生相談室を見学した人たちの感想は、意外と明るい、意外と居心地がいい、といったものでした。柏キャンパスの学生相談室は日当たりのよい明るい部屋、九段キャンパスの学生相談室は十一階の眺望の開けた部屋、どちらも、落ち着いた部屋であることを心がけています。機会があれば、どうぞのぞいてみてください。

**学生相談室**  
**だより 65**  
カウンセラー・教授 改田 明子

早いもので、春semesterが終わろうとしています。例年、春semesterは、新入生の皆さんが大学生活のスタートを過ごしてゆくお手伝いを心がけています。今年は、学生相談室を見学する機会を提供し、今は縁がない皆さんにも学生相談室を見てもらいました。学生相談室の利用者は、ほとんどの場合、自ら相談を申し込みます。自ら相談を申し込むという行為は、簡単なようでなかなか難しいことです。何か困りに直面しても、自分の力で何とかしたいと考える人は多いのではないでしょうか。また、よく知らない学生相談室の相談員には話せないし、話したとしてもどうせ当てにならない、と思うこともあるでしょう。もちろんそのような気持ちで、自ら踏ん張って困難を乗り切る人はいますし、それは好ましいことです。その一方で、自分で何とかしたいと相談するのをためらっているうちに、自分で問題を抱えずに、かなり問題が複雑で大きくなって解決し

### 第一回役員会開催

平成二十一年度第一回役員会が、六月十三日(土) 柏校舎で開催されました。当日は、山岡会長をはじめとして新役員五名を含めた十三名の役員が出席しました。役員会では、本年度の役員業務分担(広報・企画)、年間活動予定について審議しました。次回役員会は七月の予定です。

### 二松学舎大学漢詩コンクール開催

次のとおり漢詩コンクールの作品を募集しております。奮ってご応募ください。

- 対象** 高校生、大学生  
**募集** ●作詩部門 七言絶句  
詩題は自由(詩句の中に雲、または月の語があればよい)  
●鑑賞文部門 高校生の部のみ  
唐詩(律詩・絶句)のうち、一作品(八〇〇〜二〇〇字)  
**表彰** 優秀作品には賞状と盾ならびに賞品を授与いたします。  
**応募期間** 平成二十一年九月一日(火)〜九月十一日(金)
- 詳細につきましては、大学ホームページをご覧ください。

### 編集後記

今年の桜の開花は全国的に早かった様です。平成二十一年度を迎えました。この父母会報は年四回の発行を予定しています。これも皆様の会費で発行しております。今回は、学長、教授、学生、新役員からの原稿を頂き多くの皆様の協力のもと第六十五号をご送付できる幸せを感じています。

今年の地区別父母懇談会も、北海道から沖縄まで九会場で開催され、沢山の参加者で盛会催された聞いております。皆様のごところ懇談会はいかがでしたか? 開催県は変わりますが継続していく予定です。是非ご参加下さい。その他の父母会の行事計画は、ホームページをご参照下さい。大学は、七月末に九段三号館が竣工予定で、それに伴い記念事業積立金で『電子掲示板』を三箇所(九段三号館、九段一号館、柏二号館)に設置します。子供達が、休講情報や教室変更等必要な情報を入力し、是非活用して欲しいと思います。最後になりましたが、今年度も新しい役員ともども、活動できる事の喜びを編集後記とさせて頂きます。今年度も宜しくお願い致します。

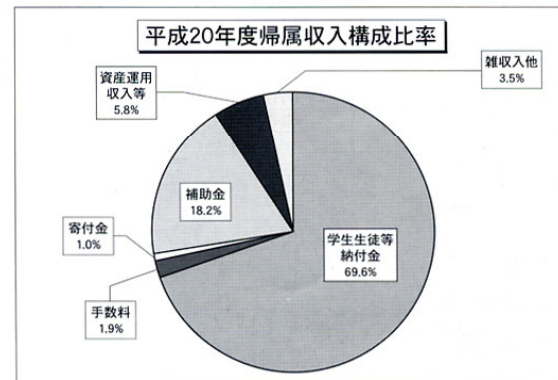
別表1 消費収支計算書 (単位:百万円)

Table with 4 columns: 科目, 平成20年度, 平成19年度, 増減. Rows include 消費収入の部 (消費収入合計 4,080) and 消費支出の部 (消費支出合計 4,876).

別表3 貸借対照表 (単位:百万円)

Table with 4 columns: 科目, 平成20年度末, 平成19年度末, 増減. Rows include 固定資産 (23,975), 流動資産 (3,084), 固定負債 (3,521), 流動負債 (1,552).

(注) 別表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。



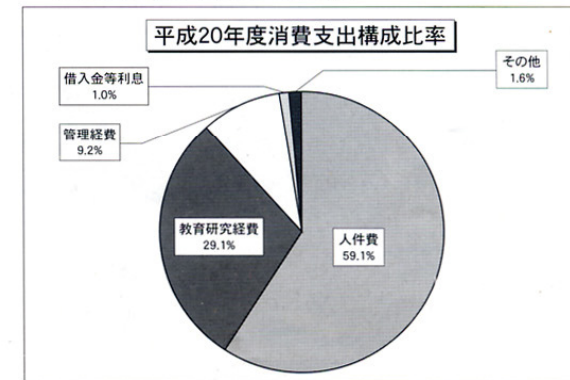
別表2 資金収支計算書 (単位:百万円)

Table with 4 columns: 科目, 平成20年度, 平成19年度, 増減. Rows include 収入の部 (収入合計 10,616) and 支出の部 (支出合計 10,616).

別表4 主な財務比率 (単位:%)

Table with 5 columns: 比率, 計算式, 平成20年度, 平成19年度, 19年度全国平均. Rows include 人件費比率 (53.5%), 人件費依存率 (76.9%), 教育研究経費比率 (26.4%), 管理経費比率 (8.3%), 流動比率 (198.7%).

(注) 「全国平均」は、日本私立学校振興・共済事業団集計による学生生徒数3千~5千人の大学法人の平均を示す(116法人)。



学校法人二松学舎(二松学舎大学・同附属高等学校・同附属沼南高等学校)の平成20年度決算、21年度予算の概要を掲載いたします。

学校法人二松学舎 平成20年度決算の概要

平成20年度の状況

平成20年度の主要事業は、大学の九段集約に向け九段校舎3号館の建築をはじめ、大学柏校舎7号館(学生会館)の建築、沼南高校西校舎防音関連工事、附属高校内装工事、その他必要な施設設備の整備等を行ったほか、当年度は附属高等学校創立60周年にあたり記念式典および祝賀会その他各種記念事業を実施した。

入学者の募集定員充足率は、大学院83%、学部125%、附属高校100%、沼南高校108%、合計114%(前年度108%)であり、在籍者の収容定員充足率は、大学院83%、学部125%、附属高校99%、沼南高校89%、合計112%(前年度111%)であった。全体では在籍者数の増加により学生生徒等納付金は前年度比増加となった。前年度は二松学舎創立130周年記念関連の寄付金があったが当年度は減少となったほか、金融環境の悪化により資産運用収入が減少となった。

平成20年度の決算概況

学校法人における決算書は、事業年度の消費収入と消費支出の均衡状態や財政の健全度合いを示す消費収支計算書、学校法人の諸活動に関わるすべての資金の流れを示す資金収支計算書および年度末における資産・負債・正味資産の状態を示す貸借対照表から成っており、それぞれ別表1、別表2および別表3のとおりである。

1. 消費収支計算書について(別表1)

消費収支計算では、帰属収入は53億8千6百万円、基本金組入額は13億6百万円、消費収入は40億8千万円に、消費支出は48億7千6百万円になり、7億9千6百万円の消費支出超過となった。

消費収入では、入学者数は大学院43名・学部747名・附属高校250名・沼南高校270名で前年度比65名増加、在籍者数は大学院95名・学部2,997名・附属高校742名・沼南高校668名(人数は平成20年5月1日現在)で、学生生徒等納付金は37億5千万円(前年度比1千4百万円の増加)となった。補助金は、経常費補助金は大学・附属高校・沼南高校とも前年度比増加し、さらに沼南高校西校舎防音工事補助金等の交付があり、全体では9億7千8百万円(前年度比9千9百万円の増加)となった。また、資産運用等収入(受取利息配当金など)は3億1千2百万円(金融環境悪化により前年度比1億9千5百万円の減少)となった。消費支出では、人件費は28億8千2百万円(退職給与引当金繰入額増加等により前年度比6千6百万円の増加)、教育研究経費は14億2千1百万円(前年度比1千7百万円の増加)となり、管理経費は4億4千7百万円(前年度比3千万円の減少)となった。

2. 資金収支計算書について(別表2)

収入の部では、資産売却収入は有価証券の売却等が少なく19億9千9百万円(前年度比22億5千9百万円の減少)となった。借入金等収入は東京都私学財団借入金(附属高校入学支度金)2百万円があり、学納金等の前受金収入は9億8千2百万円(前年度比2千9百万円の減少)となった。

支出の部では、人件費支出は退職者増加により退職金支出が増加し、29億2千7百万円となり、教育研究経費支出は10億6千5百万円、管理経費支出は4億2千3百万円となった。借入金(大学校地取得資金)返済および利息支出は2億9千8百万円で前年度比1億5千万円の増加となった。施設設備関連の支出は、大学校舎の建設、両高校の校舎整備、図書・備品購入等で10億9千5百万円となり、有価証券の購入等の資産運用支出は19億9千3百万円(前年度比29億5千1百万円減少)となった。このほか前期末未払金の支出等があり、これらの結果、20年度末の次年度繰越支払資金は、18億2千4百万円(前年度末より4億1千4百万円の増加)となった。

3. 貸借対照表について(別表3)

資産の部は、有形固定資産は、大学九段3号館および柏校舎7号館の建築、沼南高校西校舎防音工事の実施や図書の購入等により152億4千万円(前年度比7億2千8百万円の増加)となった。また、その他の固定資産は、償還等による有価証券の減少、退職給与引当および教育振興のための特定資産の取崩し(流動資産である銀行預金へ資金移動)等により87億3千5百万円(前年度末比8億7千4百万円の減少)となり、流動資産は、30億8千4百万円(前年度比3億3千万円の増加)となった。

負債の部は、借入金(私学事業団)の返済により借入金残高が減少したほか、退職給与引当金、未払金、前受金が前年度比減少し、預り金が増加したことにより、50億7千3百万円(前年度比3億2千6百万円の減少)となった。

基本金の部は、建物・構築物等固定資産の取得により第1号基本金組入額6億6百万円(2号からの振替額7億4千3百万円、合計13億4千9百万円)、大学九段新校舎建築資金および沼南高校整備資金として第2号基本金組入額7億円、第3号基本金組入額80万円(奨学金)により、197億4千5百万円(前年度比13億6百万円の増加)となった。

これらの結果、貸借対照表は、平成20年度末で資産の部270億5千9百万円、負債の部50億7千3百万円、基本金の部197億4千5百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費収入超過額22億4千1百万円となり、正味財産額は219億8千6百万円(前年度末より5億1千万円の増加)となった。

4. 主な財務比率について(別表4)

財務比率は、概ね良好である。消費収支関係比率では、人件費比率(帰属収入に占める人件費の割合)および人件費依存率(学生生徒等納付金に占める人件費の割合)が前年度比増加したが、退職者の増加による退職金の増加と帰属収入のうち寄付金、資産運用収入の割合が低くなったためである。管理経費比率(帰属収入に占める管理経費の割合)、消費支出比率(帰属収入に占める消費支出の割合)、帰属収支差額比率とも良好な水準を保っている。貸借対照表関連比率では、「固定資産構成比率」(総資産に占める固定資産の割合)、「固定比率」(自己資金に占める固定資産の割合)、「流動比率」(流動負債に占める流動資産の割合)は、大学校地の取得や校舎の建築、資金の保有形態のシフト(預貯金から債券へ)などから近年は固定資産の割合が高くなっている。



## 学校法人二松学舎 平成21年度予算の概要

### 平成21年度の状況

本年度は附属沼南高等学校が創立40周年を迎える。記念事業として、式典・祝賀会ほか各種事業を実施する計画である。  
 キャンパス整備については、大学の九段集約に向け千代田区九段南の地に昨年来建設中の九段3号館(創立130周年記念校舎)が竣工する。柏キャンパスについては、大学柏校舎7号館が3月に竣工し、この4月より使用を開始している。また、附属高等学校の空調機器や図書室の整備、附属沼南高等学校南校舎の防音改修工事、同校創立40周年を記念した体育館の建替工事などを計画している。  
 大学の教育・研究推進、両附属高等学校の教育の見直し、学生募集の強化、入口・出口対策、広報体制の充実、キャンパス整備、人事計画と適切な人事の推進、組織の効率化、財務改革、創立135周年関連など「21世紀二松学舎像の策定を目指すマスタープラン」に従って着実かつ段階的に実施する。また、法人の財務格付の結果を公表・活用し、自己点検・調査を実施するなど各種改善策を図ると共に、本学の知名度(ブランド力)の向上を通じて入学者の増大に結び付ける。  
 収入面では、補助金については、引き続き競争的補助金の獲得に努めていくほか平成19年12月より開始した恒常的な寄付金募集体制「二松学舎教育研究振興資金」を収入の一助とするともに、安全性に配慮した資産運用を引き続き行い収入の多様化を通じて収益向上を図っていく方針である。さらに、財務改革の方策の一環として本学出資により立ち上げた事業会社(二松学舎サービス)を活用し、学生、教職員へのサービス向上に資する事業を拡大させ、収益事業の一環として対応していく。また、支出面については、大学九段集約に向けた事務組織の見直し、事務の効率化を図りつつ教職員の定員制の遵守により人件費の削減を図るほか経費全般の見直しを行うことにより収支改善を図ることを平成21年度の予算編成方針とした。

### 平成21年度の収支状況

#### 1. 消費収支予算書について(別表5)

##### (1) 消費収入の部について

- ①収入の柱である学生生徒等納付金は、37億5千5百万円となる見込みである。
- ②寄付金は、二松学舎教育研究振興資金の募集を柱にCOEで取得した図書に大学移管などにより7千9百万円を見込んでいる。
- ③補助金は、私立大学等経常費補助金が減少となる見込みである。当年度は附属沼南高校南校舎の防音工事に係る補助金を2億1千5百万円程度見込んでおり、9億6千6百万円を計上している。
- ④資産運用収入は、安全性に配慮した資産運用を行い、1億円を見込んでいる。
- ⑤基本金組入額は、大学九段3号館の竣工と附属沼南高校南校舎の防音改修工事など施設整備及びその他設備備品の取得額などにより、12億3千万円を計上している。

##### (2) 消費支出の部について

- ①人件費は、26億6千3百万円となり、前年度に比べ減少となる見込みである。
- ②教育研究経費は、施設設備の改修費用、情報システム関連経費、本学所蔵資料及び紀要のデジタル化ほか特別事業費を繰り込み、15億円を計上している。
- ③管理経費は、教育研究経費と同様に施設・設備の維持管理費と事務システム関連経費のほか、附属沼南高校創立40周年記念事業費等を繰り込み、4億3千7百万円を見込んでいる。

これらの結果、帰属収入は50億3千4百万円、基本金12億3千万円組入後の消費収入合計は38億4百万円、消費支出合計は46億4千9百万円となり、8億4千5百万円の消費支出超過となる見込みである。

#### 2. 資金収支予算書について(別表6)

収入の部は、寄付金収入、補助金収入、資産売却収入の減少等により、前年度に比べて減少の見込みである。また、支出の部は、資産運用支出の減少等により、前年度に比べて減少の見込みであり、収入・支出とも前年度に比べて減少となる見込みである。

別表5 消費収支予算書 (単位:百万円)

科 目	平成21年度 予 算	平成20年度 実 績	増 減
<b>消費収入の部</b>			
学生生徒等納付金	3,755	3,750	5
手数料	93	101	△ 8
寄付金	79	53	26
補助金	966	978	△ 13
資産運用収入	100	310	△ 210
資産売却差額	0	2	△ 2
事業収入	7	5	2
雑収入	34	187	△ 152
帰属収入合計	5,034	5,386	△ 352
基本金組入額合計	△ 1,230	△ 1,306	77
消費収入の部合計	3,804	4,080	△ 275
<b>消費支出の部</b>			
人件費	2,663	2,882	△ 220
教育研究経費	1,500	1,421	79
管理経費	437	447	△ 10
借入金等利息	44	48	△ 4
資産処分差額	5	77	△ 72
徴収不能額等	1	0	1
消費支出の部合計	4,649	4,876	△ 226
当年度消費支出超過額	△ 845	△ 796	△ 49
前年度繰越消費収入超過額	2,241	3,037	△ 796
翌年度繰越消費収入超過額	1,396	2,241	△ 845

(注) 金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計額等が一致しない場合がある。

別表6 資金収支予算書 (単位:百万円)

科 目	平成21年度 予 算	平成20年度 実 績	増 減
<b>収入の部</b>			
学生生徒等納付金収入	3,755	3,750	5
手数料収入	93	101	△ 8
寄付金収入	34	39	△ 5
補助金収入	966	978	△ 13
資産運用収入	100	310	△ 210
資産売却収入	207	1,999	△ 1,793
事業収入	7	5	2
雑収入	34	187	△ 152
借入金等収入	0	2	△ 2
前受金収入	969	982	△ 13
その他の収入	1,215	2,031	△ 816
資金収入調整勘定	△ 949	△ 1,177	228
当年度資金収入合計	6,431	9,207	△ 2,776
前年度繰越支払資金	1,824	1,409	414
収入の部合計	8,254	10,616	△ 2,362
<b>支出の部</b>			
人件費支出	2,713	2,927	△ 214
教育研究経費支出	1,070	1,065	5
管理経費支出	413	423	△ 11
借入金等利息支出	44	48	△ 4
借入金等返済支出	250	250	0
施設関係支出	1,599	974	625
設備関係支出	227	121	106
資産運用支出	227	1,993	△ 1,766
その他の支出	163	1,144	△ 981
資金支出調整勘定	△ 114	△ 153	39
当年度資金支出合計	6,591	8,793	△ 2,201
次年度繰越支払資金	1,663	1,824	△ 161
支出の部合計	8,254	10,616	△ 2,362